

第20回

包装材料セミナー

オンライン配信

—包装業界での環境への対応と期待される今後の取り組み—

日時：令和7年1月24日(金) 13:00～16:50

主催：公益社団法人日本包装技術協会

包装材料セミナーの参加申し込み方法について

JPIホームページ(URL:<https://www.jpi.or.jp/>)より参加登録をお願いします。

Zoomを利用したオンラインセミナーとなります。

お申込みの方に、事前登録等の手続きをメールでご案内します。

プログラム

13:00～13:50 講師 経済産業省 GXグループ 環境政策課 環境経済室 係長 竹下 敬太 氏

講演内容

『GX市場創造に向けた取組について』

脱炭素と経済成長を両立するGXの実現には、製造過程での排出削減効果が大きい製品や、他者の排出削減に貢献する製品が市場で評価され、需要が拡大していくことが重要であり、このようなGX市場の創造に向けた取組について紹介する。

14:00～14:50 講師 大阪大学 大学院工学研究科 教授 宇山 浩 氏

講演内容

『プラスチック資源が循環する社会に向けた新たなケミカルリサイクルの取り組み』

アパレルファッション産業は石油に次いで第二位の環境汚染産業と指摘され、衣料品の大量生産・大量消費・大量廃棄は環境破壊につながる。衣料品の半分近くを占める綿／ポリエステル(PET)混紡繊維は従来技術では綿とPETに分離できず、再資源化が困難である。演者らはマイクロ波照射を利用し、綿をマテリアルリサイクルし、PETはその前駆体であるテレフタル酸ビスヒドロキシエチルに高効率にケミカルリサイクルする技術を開発した。本講演では混紡繊維のリサイクル技術を中心にプラスチックのケミカルリサイクル技術を中心にプラスチック資源循環の技術動向を紹介する。

15:00～15:50 講師 株式会社 カネカ Global Open Innovation企画部 主任 宅 佑奈 氏

講演内容

『カネカ生分解性バイオポリマー Green Planet® の開発』

プラスチックによる海洋汚染問題への対応が世界的に急がれる中、カネカはこれまでのプラスチックを代替する素材、「カネカ生分解性バイオポリマー Green Planet®」を開発しました。Green Planet®は、植物油などのバイオマスを原料にして微生物から産生されるバイオポリマーで、土中や海水中でも生分解されることから、プラスチックによる環境汚染問題の解決に貢献します。Green Planet®の特性や用途開発、認知向上の取組について紹介します。

16:00～16:50 講師 レンゴー株式会社
パッケージング部門 生産本部 生産業務部 物流課 課長 眞田 浩平 氏
パッケージング部門 開発本部 包装技術第一部 東京包装技術第二課 課長 半田 雅之 氏

講演内容

『段ボール包装における2024年物流問題への対応』

2024年の物流問題は、物流業界だけでなく、包装業界にも密接に関係し、大きな影響を及ぼす重要な課題です。当社では、自社物流における改善と、パッケージングの提案を通じて、この課題の解決に取り組んでいます。以下の2点についてご紹介します。

- ①段ボール配送における課題と、ユーザーと連携した改善策
- ②段ボールなどの包装材料、包装形態、包装機械の工夫により、ユーザーと連携して物流課題の解決に取り組んだ事例

講師のご紹介

竹下 敬太(たけした けいた)氏

経済産業省 GXグループ 環境政策課 環境経済室 係長

略歴 2023年 5月より現職
産官学が連携し我が国のGXを牽引する枠組みであるGXリーグの運営を担当

宇山 浩(うやま ひろし)氏

大阪大学 大学院工学研究科 教授

略歴 1985年 京都大学工学部卒業
1987年 京都大学大学院工学研究科修士課程修了
花王株式会社 研究員
1988年 東北大学工学部助手
1997年 京都大学大学院工学研究科助手
2000年 京都大学大学院工学研究科助教授
2004年 大阪大学大学院工学研究科教授
2024年 (株)TerraPlas代表取締役(兼)

宅 佑奈(たく ゆうな)氏

株式会社カネカ Global Open Innovation企画部 主任

略歴 2017年 株式会社カネカ入社
2022年より現職

眞田 浩平(さなだ こうへい)氏

レンゴー株式会社 パッケージング部門 生産本部 生産業務部 物流課 課長

略歴 2005年 レンゴー株式会社入社
2021年4月より現職

半田 雅之(はんだ まさゆき)氏

レンゴー株式会社 パッケージング部門 開発本部 包装技術第一部 東京包装技術第二課 課長

略歴 2005年 レンゴー株式会社入社
2019年11月より現職

包装材料セミナー企画委員

- 大橋 敬史 委員 マースジャパンリミテッド アジア太平洋地域 研究開発部パッケージマネージャー
- 芋田 大輔 委員 東洋製罐(株) テクニカルセンター 基盤技術開発部 主幹
- 大葛 貴良 委員 ユニチカ(株) 包装フィルム営業部 市場開発グループ グループ長
- 大平 祐歌 委員 (株)明治 研究本部 包装研究ユニット 包装G
- 尾下 竜也 委員 (株)クラレ エパール事業部市場開発部 兼 製品・品質統括部 部長
- 山住 弘 委員 雪印メグミルク(株) ミルクサイエンス研究所 技術開発研究室
- 藤村香往里 委員 TOPPAN(株) 生活・産業事業本部 SX推進センターSXパッケージ開発本部 開発戦略部1チーム 課長
- 磯 忍 委員 アサヒ飲料(株) 研究開発本部 技術研究所 容器包装グループ グループリーダー

開催要領

■日 時：令和7年1月24日(金) 13:00~16:50

※Zoomを利用したオンラインセミナー形式
申込者に事前登録の手順をメールで連絡します

■参加費：

1名分 参加費	会 員	会 員 (3名同時申込 1名あたり)	一 般
本 体	15,000円	13,000円	22,000円
消費税 10%	1,500円	1,300円	2,200円
税込合計	16,500円	14,300円	24,200円

■定 員：100名

【参加申し込み方法と注意事項】

【参加申込方法】

- 本催しは「Zoomウェビナー」を利用したオンライン配信となります。
お申し込みは当会ホームページの包装材料セミナー参加申込ページよりご登録下さい。
当会ホームページURL：<https://www.jpj.or.jp/>
- 参加申込者には参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項をお知らせしますので、確認の上参加の準備を進めて下さい。(登録後、事前の参加手続きが必要ですのでご注意ください。)
- 申し込みされた方には後日参加料請求書をお送りします。
- 申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1人しか参加できません。

【注意事項】

- ①「Zoomウェビナー」を利用したオンライン配信となりますのでご利用の端末へのZoomアプリケーションのインストールおよびインターネット接続が必要となります。
- ②接続回線の状況により視聴しにくい場合があります。通信費・接続利用料金等は自己負担となります。
- ③本セミナーの内容について、録画・録音・キャプチャー取得によるデータ保存行為を固く禁止します。
- ④申し込みの際メールアドレスの入力が間違っていると案内メールをお送り出来ませんのでご注意ください。
- ⑤開催3日前からのキャンセルによる参加費のご返金はできませんのでご注意ください。

【個人情報の取り扱いについて】 1. 個人情報は「第20回包装材料セミナー」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。なお、作成資料は、開催当日、関係者に限り配布する場合があります。 2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示・提供することはありません。

■お問い合わせ先■

公益社団法人日本包装技術協会 包装材料セミナー係 担当：小橋

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

TEL.03 (3543) 1189 FAX.03 (3543) 8970 e-mail: kobashi@jpj.or.jp